

伊東マンショ肖像画 所有者来県

知事と懇談 きよつ講演も



肖像画について話すトリヴルツィオ会長（左）

現在の西都市出身で、天正遣欧少年使節の一員、伊東マンショ（1570?～1612年）の肖像画を所有するイタリア・トリヴル

ツィオ財団のジャン・ジャコモ・アットリコ・トリヴルツィオ会長が20日、県庁を訪れ、河野知事と懇談した。

トリヴルツィオ氏は、東京で開催中の、肖像画の特別公開に合わせて初来日した。県立美術館でも9月9日～10月16日に公開される予定で、河野知事は「日伊国交150周年の記念すべき年にマンショの肖像画を通じた交流ができればいい」とうれしく思います」と述べる。

と、トリヴルツィオ氏は「肖像画を通じた宮崎の方との交流を今から楽しみにしています」と笑顔を見せた。

トリヴルツィオ氏は21日午後2時から、西都市民会館で開かれる伊東マンショ講演会・演奏会で講演する。